

社家小だより

開校三十七周年

二月十五日は開校記念日です。



一九七八年（昭和五十二年）四月、有馬小学校から独立し、社家小学校が誕生しました。

それ以前は、一年生から三年生までの子供たちが、当時県下で唯一の分校であった社家分校（現在の社家自治会館の場所）に通い、四年生から本校（現在の有馬小学校）に通っていました。

社家小学校の独立については、昭和四十二・三年頃から、自治会など地域の方々が何度も会合を重ね、用地の確保などに尽力され実現したという記録があります。つまり、社家小学校は地域の方々の「一日も早く独立させてもらいたい」という願いに支えられて生まれた学校です。

開校当時の六年生の感想には、「校舎に入ると、薄いピンクやブルーの廊下、ピカピカの教室と机があり、周りには緑がたくさんでのびのびできます。とても理想的な学校です。私たちは社家っ子として、この社家小学校を外見ばかりでなく、中身ももつとつと良くなるよう努力していきたいです。」と書かれています。校舎は老朽化が目立ちますが、子供たちの「もっと良い学校にしよう」という心意気は変わりません。この良き伝統を三十八年目につなげていきたいと思えます。

第169号
H27.2.13
海老名市立
社家小学校
TEL046-238-1453



開校三十八年目に向けて

保護者の皆様には学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。現在集計し今年度の取り組みの検証をしています。いただいたご意見を平成二十七年度の取り組みに生かしていきたいと考えています。詳細は、三月号でお知らせいたします。

次年度の取り組みとして行うものをお知らせします。

小中一貫教育の研究

教育委員会から有馬中学校校区に小中一貫教育の研究が委託されます。これを受け、有馬中、有馬小、門沢橋小と連携しながら、小・中学校の九年間を見通した指導の在り方について研究を進めていきます。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

社家小学校応援団

これまで子供たちの活動を支えていたいただいてきたサマースクール実行委員会、あそびっ子クラブ、図書ボラなどの組織が、教育委員会が推進する子ども・学校支援事業のもとで、社家小学校応援団という一つの組織になり、学校を支援していくことになりました。子供たちの体験活動の支援や放課後の居場所づくりなど、子供と学校の応援団です。地域の方が応援したくなる学校づくりを目指していきたいと思えます。



☆三年生が考えた友達標語☆

だいじょうぶ 相談してね ありがとう
がんばろう 一人じゃないよ みんないる
友達も けんかもあるが なかなおり
友達の 良いところつけ はげまそう
がんばれよ みんなが 応援してるから
一人でも 大丈夫だよ 仲間がいる
がんばれよ その一言が うれしいな
がんばろう あきらめないで みんながいるよ
大丈夫 その一言が うれしいな

学校は様々な子供たちが学ぶ場です。気持ちの行き違いから時には喧嘩もあり、してよいことと悪いこととの判断が甘く周りの人に迷惑をかけることもあります。そうした失敗を乗り越え、大人の適切な指導により、ふるまい方を学んでいきます。子供たちは学校という小さな社会の中で、将来周囲の人たちと協力して働く力の素地を身に付けていきます。そのために、仲間を大切にするとはどういうことかを学んでほしいと思います。この標語から、仲間を大切にしていることが伝わりました。私たち大人も、この標語から学ぶべきことが多くあると思えます。

平成27年2月～3月の主な行事

- 13日(金)有中学区合同ク(さわやか級)
- 15日(日)開校記念日(37周年)
- 16日(月)朝会(長縄跳び)
- 17日(火)クラブ活動(3年見学)
- 18日(水)読み聞かせ(全学年)
- 19日(木)図書ボラ本修理・昼休みお話し会
- 21日(土)PTA本部・常任委員会
- 23日(月)朝会(運営委員会)
- 24日(火)委員会活動
1年みなみ幼稚園交流会
- 26日(木)小中連携授業参観A5日課
- 27日(金)学校保健委員会
- 28日(土)PTA本部・常任委員会
きれいなまちづくり活動



- 3月
- 2日(月)朝会 学校メールテスト配信
PTA学級委員会
- 3日(火)委員会活動 代表委員会
お話し会(3年・4年)
- 4日(水)読み聞かせ(1.2.3.4.5年)
校外パトロール1年
- 5日(木)6年有馬中学校体験入学
- 11日(水)6年生を送る会
社家小学校応援団運営委員会
- 12日(木)6年奉仕作業 卒業式予行練習
図書ボラ本修理
- 13日(金)さわやか級校外学習
- 16日(月)朝会 有馬高校交流会(1.2年)

学校訪問 相談日

- 2月 16日 23日
- 3月 9日 16日 23日



第三十七回 卒業証書授与式 三月二十日 九時三十分開式

社家小学校のリーダーとして立派に学校生活を送ってきた六年生の卒業に向けた取り組みが進んでいます。

卒業を控えたその思いを俳句・短歌に表しました。

- *桜花 切なく散って 背中押す
- *卒業へ 桜角ぐむ 咲く準備
- *卯月から 新ストーリーの始まりだ
- *春が来た 未知の世界へ いざ行こう
- *咲きほこる 桜がいうよ 自信もて
- *白い息 みんなといると雲みたい
- 春の空まで 届くといいな



最後の授業参観
ありがとうコンサート